



訪日教育旅行

海を越え、日本を学ぶ――

台湾の高雄市にある「路竹高級中学校」の生徒33名が芝山町でホームステイを行いました。その国境を越えた、温かいふれあいの様子をカメラが追いました。

5月10日から2泊3日の日程で、留学生が来日しました。

このホームステイ受け入れ事業は、県の訪日教育旅行（海外学生の団体旅行）推進施策を受け実施しており、町では平成27年度から協力しています。

留学生を温かく迎え入れたのは町内11組のホストファミリー。それぞれが各家庭で夕食の準備や家族揃っての食事など「日本の日常」を体験しました。

数軒が合同で開いた歓迎会では、てんぷらや手巻き寿司など、さまざまな日本料理で留学生をおもてなし。初めて口にした日本料理に「おいしい！」と、満足を話してくれました。食事を終え、「お礼に」と留学生の王さんが、日本の名曲をフルートで演奏。聴いていたホストファミリーからは大きな拍手が送られました。

過ごした時間は短くても、こ

の2泊3日では家族のように温かな交流が行われ、言葉の壁を越えた芝山町と台湾の深い絆が結ばれました。

台湾ってどんなところ？
面積：約3万6千平方キロメートル（九州よりやや小さい）
人口：約2,350万人
言語：中国語・台湾語など
日本からの距離：南西に約2,100キロメートル





①ホームステイ最終日。文化センター前にて記念撮影。②受入れ式で相川町長の話を知る留学生。③福祉センターにて歓迎会。④・⑤初めて自分で巻いた太巻き寿司はおいしい！⑥ホストファミリーとお好み焼き作りに挑戦⑦家族みんなで「いただきます！」⑧・⑨「またね」と再会を誓って



INTERVIEW



山浦麗子さん

自分自身も高校のときに留学した経験があるので、今回受け入れを希望しました。台湾の子どもたちは素直でいい子たち。芝山の子どもたちも海外に直接行き、肌で魅力を感じて欲しいですね。



王煒瑄さん

日本を訪れたのは今回が3回目です。なにより日本語の勉強が大好きです。ホストファミリーのお父さん・お母さんが親切にしてくれたのがとても心に残っています。また日本を訪れたいです。